

令和4年度 指定管理施設評価票

1 基本情報

(令和5年3月31日時点)

施設名	赤坂地区公園・児童遊園						
指定管理者	かたばみ・山本・GSグループ						
指定期間	令和 4 年 4 月 1 日 ~ 令和 9 年 3 月 31 日						
募集方法	公募	グループ化の有無	○	利用料金制の採用	－	使用許可権限の付与	－
施設所管課	赤坂地区総合支所まちづくり課						

2 職員体制

(単位：人)

	正規	常勤	非常勤	非正規	常勤	非常勤	委託（シルバー人材センター等）	合計
職員数	3	3		1	1			4
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	備 考		
正規・非正規職員の退職者数	2							

3 指定期間における事業実績

事業実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	備 考
開園日数（日）	365					
利用者数（人）	14,372					
事業実施回数（回）	26					
事業参加者人数（人）	4,716					
苦情件数（件）	6					

4 指定期間における経費実績

(単位：円)

項 目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	備 考
経費実績	収入	151,338,215	0	0	0	
	指定管理料（清算後）	151,338,215				
	利用料金収入					
	その他収入					
	支出	150,323,227	0	0	0	
	職員人件費	19,516,200				
	光熱水費	5,164,475				
	修繕費	14,001,130				
	事業運営費	11,411,204				
	施設管理経費	86,366,438				
	その他経費	13,863,780				
差引収支額		1,014,988	0	0	0	
年度協定書で定める指定管理料		152,383,740				

5 管理運営状況に対する評価

項 目		評価視点	指定管理者に よる評価	区による評価		
				評価	加算	点数
【施設の 維持管理】	① 設備機器の保守管理	仕様書等に従い、適切に設備機器の保守管理が行われ、利用者の安全・安心が確保されていたか。	5 / 5	5 / 5	×1	5 / 5
	② 清掃及び衛生管理	仕様書等に従い、適切に清掃及び衛生設備の保守管理が行われ、施設が清潔に保たれていたか。	5 / 5	5 / 5	×1	5 / 5
	③ 修繕対応	迅速に修繕がなされ、利用者の安全・安心が確保されていたか。	5 / 5	5 / 5	×1	5 / 5
【事業運営】	④ サービスの向上	事業計画書で定めた事業を適切に実施するとともに、公募時の提案や利用者の声を事業に反映するなどサービス向上を図っていたか。	3 / 5	3 / 5	×5	15 / 25
	⑤ 職員配置	事業計画書等で定めたとおり、必要な知識や技能を持った職員が適正に配置されていたか。	5 / 5	5 / 5	×2	10 / 10
	⑥ 人材育成	施設長や職員に対する研修などにより、サービスの向上に向けたスキルアップに取り組んでいたか。	3 / 5	3 / 5	×1	3 / 5
	⑦ 労働環境	区が定める最低賃金水準額を遵守するとともに、ハラスメントが通報されないなど、職員にとって良好な労働環境が確保されていたか。	5 / 5	5 / 5	×2	10 / 10
	⑧ 安全管理・危機管理	施設の日常安全点検を実施するとともに、災害や事件・事故発生時の体制や対応の確立などにより、利用者の安全・安心が確保されていたか。	5 / 5	5 / 5	×3	15 / 15
	⑨ 個人情報保護・情報セキュリティ	個人情報や情報セキュリティの社内規程を整備し、区の規程とともに遵守して、適正に運用していたか。	3 / 5	3 / 5	×1	3 / 5
	⑩ 区施策への協力	高齢者や障害者の雇用促進、区内事業者の活用、施設の省エネ促進等、区の施策を理解し積極的に協力していたか。	5 / 5	5 / 5	×3	15 / 15
区による評価合計点						86 / 100

【各項目の評価について】
5点：当該項目に係る事項については、充実した取組が展開されていた。
3点：当該項目に係る事項については、概ね適切に取り組んでいた。
1点：当該項目に係る事項については、更なる取組の推進が必要であった。
※複合施設の入居施設等で、当該施設の指定管理者が設備機器の保守管理等を直接実施していない場合、該当項目は「－：評価対象外」とします。

指定管理者による自己評価	区の財政援助団体等監査の指摘事項については、区と話し合いを行いつつ改善しました。 維持管理業務や提案事業においては区に積極的な提案を行いました。サービス向上・改善に関する提案は十分にできず、課題が残りました。また、人材育成についても、事務員の入れ替わりが多くなってしまい、本社での接遇研修を毎回行うことができませんでした。独自の人材育成プログラムと呼べるものも確立していないため、取組みの推進が必要であると考えます。 一方、維持管理の品質や提案事業の内容、地域協働に関しては前年度までに比べ更なる改善が見られたので、引き続き地域住民のニーズをくみ取り、地域に根差したにぎわいのある公園づくりを進めていきます。
区（施設所管課）による評価	利用者の声を管理運営に拾い上げることは更なる取組の推進が必要です。利用者アンケートの回答の数が少ないため、問い合わせフォームの設置等で改善されることを期待しております。 イベントの実施については充実した取組みがなされていたと評価できます。令和3年度以前と比較しても数多くのイベントを実施し、赤坂・青山地区の公園の賑わいを創出しています。評判の良かったイベントを把握し、以降の事業運営につなげていくという姿勢も感じられました。 今後も、長年の公園・児童遊園の管理運営からなるノウハウを活かし、利用者への安全安心な居場所の提供、並びに定期的なイベント開催を通じて、新たな公園・児童遊園の魅力を発見できるよう、区も引き続き支援指導します。

6 評価

令和4年度の管理運営に関する総合評価	A
--------------------	---

【総合評価について（項番5における区による評価合計点の得点率）】
S：施設の管理運営は特に優れていた（90%以上）
A：施設の管理運営は優れていた（80%以上90%未満）
B：施設の管理運営は適切に行われていた（60%以上80%未満）
C：施設の管理運営に改善が必要であった（60%未満）